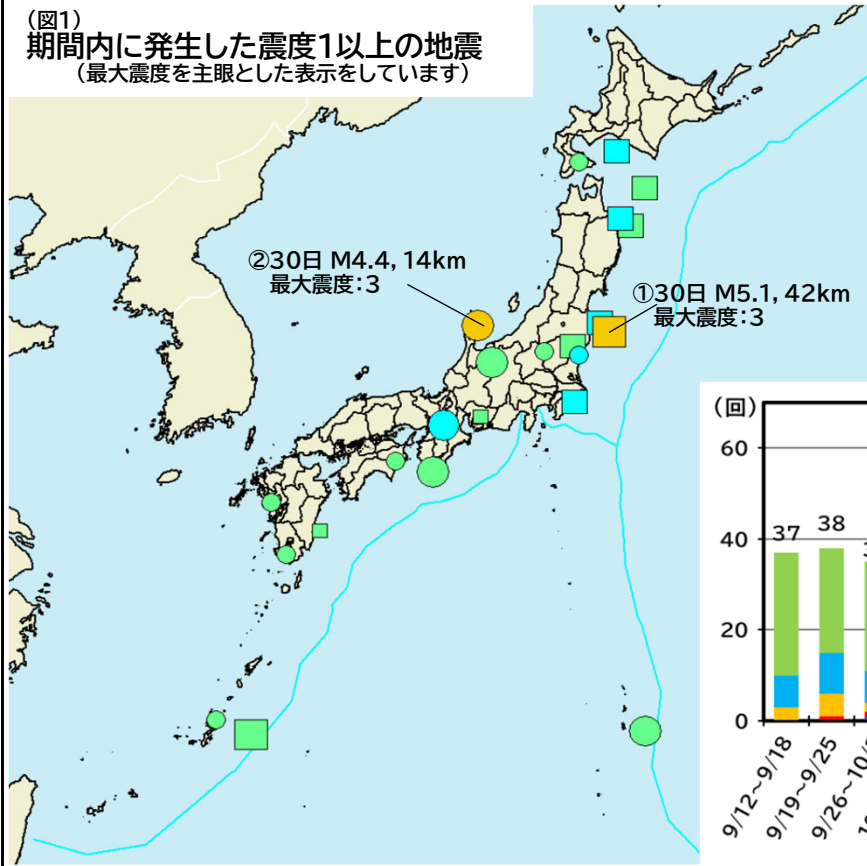


この期間の最大震度は3

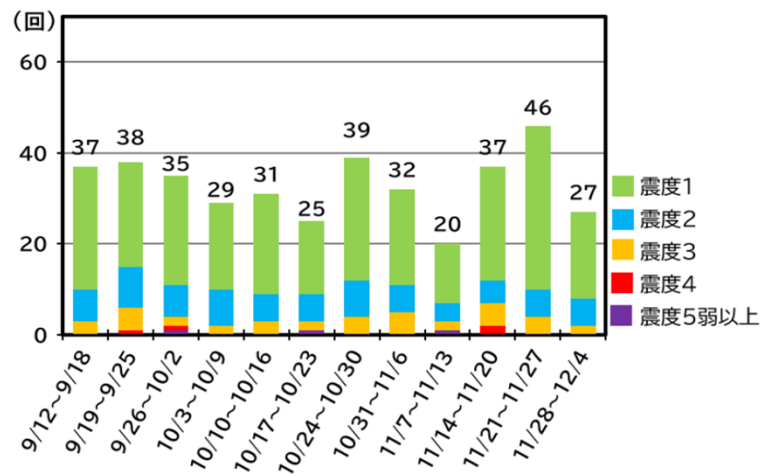
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

(図1) 期間内に発生した震度1以上の地震 (最大震度を主眼とした表示をしています)



最大震度	マグニチュード	深さ(km)
震度5弱以上	7.0	0
震度4	5.0	30
震度3	3.0	90
震度2		
震度1		

(図2) 1週間毎の最大震度別地震発生回数



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が27回発生。最大震度は3。■

- ①30日12時45分に福島県沖で発生した地震(M5.1、深さ42km)により、福島県いわき市及び大熊町で震度3を観測したほか、東北地方及び関東地方で震度2~1を観測。
- ②30日17時07分に石川県能登地方で発生した地震(M4.4、深さ14km)により、石川県珠洲市及び能登町で震度3を観測したほか、北陸地方で震度2~1を観測。この付近では、今期間中に震度1以上を観測する地震が5回(震度3:1回、震度1:4回)発生した。

トピックス

■ 昭和東南海地震と想定南海トラフ巨大地震 (この週の日が発生した過去の被害地震) ■

- ・1944(S19)年12月7日、紀伊半島沖の南海トラフ沿いでM8.2の昭和東南海地震が発生し静岡県と三重県で震度6、東海地方から近畿地方にかけて震度5を観測した。その2年後の1946(S21)年12月21日、ほぼ同じ場所でM8.4の昭和南海地震が発生し、東海地方から九州地方にかけての広い範囲で震度5を観測した(震度はすべて旧震度階級)。
- ・近い将来発生が危惧されている南海トラフ沿いでは、上記のような大地震が概ね100~150年間隔で繰り返し発生しており、前回の発生から既に80年近く経過しており、いつ起きてもおかしくない時期に入っているといえる。
- ・過去には上記のように震源域の東と西で、巨大地震が時間差で2回続けて起こる場合や東西ほぼ同時に発生するなどの多様性がある(右図参照)。
- ・南海トラフ沿いで発生する地震は震源域が陸に近いことから、地震発生から津波到達までの時間が短く、地域によってはわずか2分で津波が押し寄せてしまうので特に警戒が必要です。
- ・国や自治体は、被害を少なくするために様々な対策をとっていますが、私たちが個人で出来る、家具の耐震固定、避難先と避難方法の確認、非常食の備蓄などの事前の対策が肝心です。

